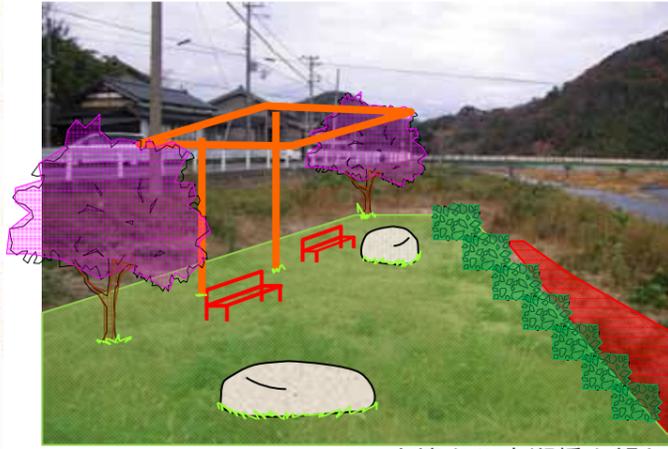
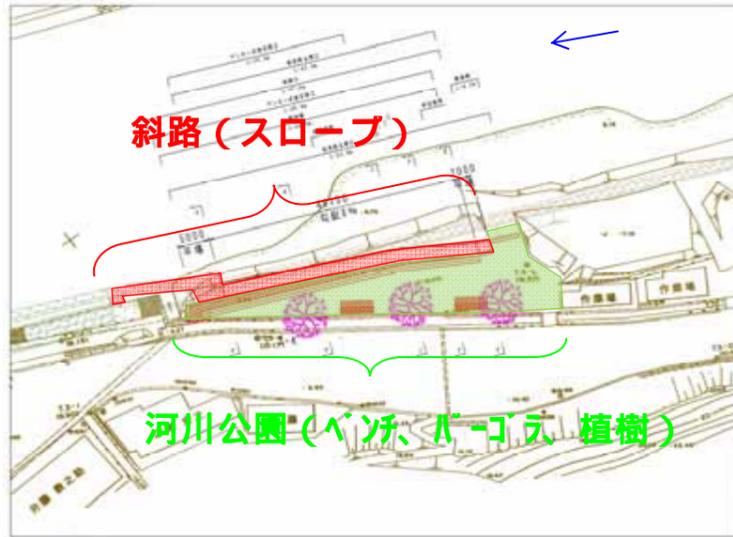


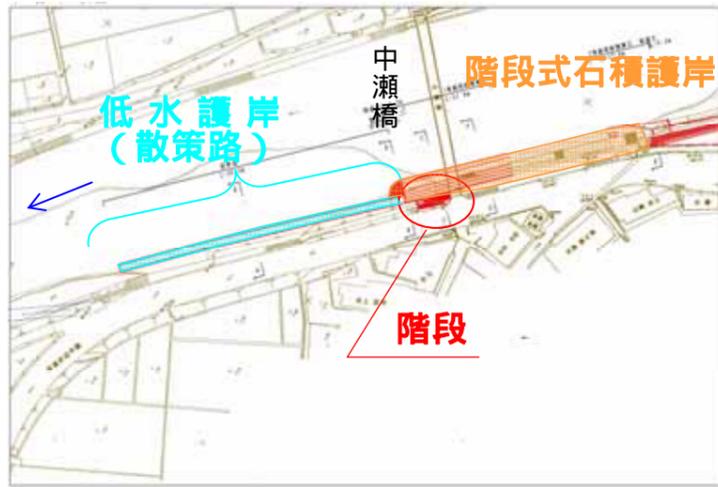
各施設の整備方針の概要【配置計画】

河川の整備方針としては、左岸側を主たる整備区域とし、当面は中瀬橋付近を中心に行う予定としております。



上流から中瀬橋を望む

中瀬橋から上流の左岸において、河川と農業用水路に挟まれた土地に河川公園（休憩施設、植栽）の整備を予定しております。この公園から昨年度に工事した階段式の石積護岸へ降りられるように斜路（スロープ）を配置し、あゆ祭りの会場との行ききができるよう一体的に利用できるように整備する予定です。



中瀬橋から上流を望む

昨年度実施した階段式の石積護岸を下流域に延ばして、あゆ祭りの会場となる場所の拡大を行う。また、府道から登り降りができるよう階段の設置（中瀬橋からすぐ下流の左岸）を行う。下流の高水敷まで低水護岸を配置し、散策路として利用できるように整備する予定です。

宇川に関することや丹後土木事務所管内の河川公園等につきましてインターネットのホームページにて公開しておりますのでご覧ください。



発行：京都府丹後土木事務所 http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/kasen_kouji.html

問合せ先：担当 河川砂防室 大下 電話 0772-22-7986(直通)

2008.06

各戸配布

**宇川親水公園ワークショップ
ニュース Vol.3**

はじめに

宇川親水公園等につきましては、平成18年度にワークショップを開催し、皆様方からの意見等をいただき意見集約図の作成を行いました。その意見集約図に対し、河川整備の実現性（河川整備方針）について検討を進め、昨年の12月26日に地元及び関係漁協の方と意見交換させていただき、河川整備方針の策定を行いました。

今回のワークショップニュースは河川整備方針の紹介させていただきます。なお、今回の内容により、工事実施を確定したのではなく、法令、基準等を順守した上で、地元及び関係機関との意見交換を重ね柔軟に整備を進めていきたいと考えております。

宇川多自然型川づくり計画

平成5年10月に地元有識者による「宇川多自然型川づくり地域懇談会」を開催し、「宇川多自然型川づくり計画」を策定し、以下の項目の取組みを行うこととしております。

- 落差工に魚道
- 瀬や淵の再生
- 適正なみお筋の形成
- 魚類、底生生物等の定期調査
- 流域住民全体の理解と協力

流域住民全体の理解と協力

宇川流域のお住まいの皆様方に「川づくり」に対し、理解を深めていただき、協働して事業を進めるため「ワークショップ」を平成18年度に開催しました。

ワークショップの意見に対する河川整備の実現性についての検討

河川整備の実現性の検討にあたっては、河川法や関連する法令等を順守し、河川工作物等の技術基準等により整備が可能か判断する必要があります。

また、当該整備区域についてゾーニング計画（配置領域の設定）を行い、整備方針への位置づけを行いました。

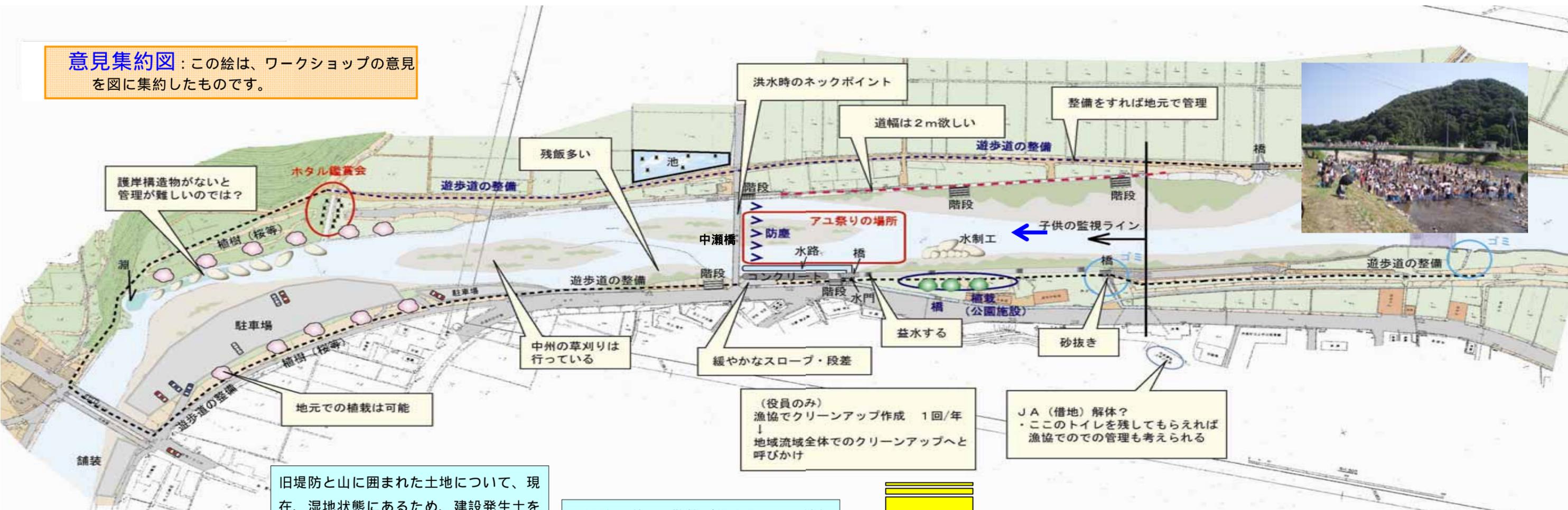
- 自然ゾーン**：あゆの生息環境である淵や野鳥が営巣している木々など守るべき環境空間
右岸側宇川橋上流域
- 自然利用ゾーン**：親水、散策など自然とふれあえる環境空間
あゆ祭りのメイン会場となる中瀬橋左岸側
- 整備ゾーン**：施設整備を行い、新たに生まれる環境空間
平成5年策定の「宇川多自然型川づくり計画」でも位置づけのある左岸宇川橋上流域



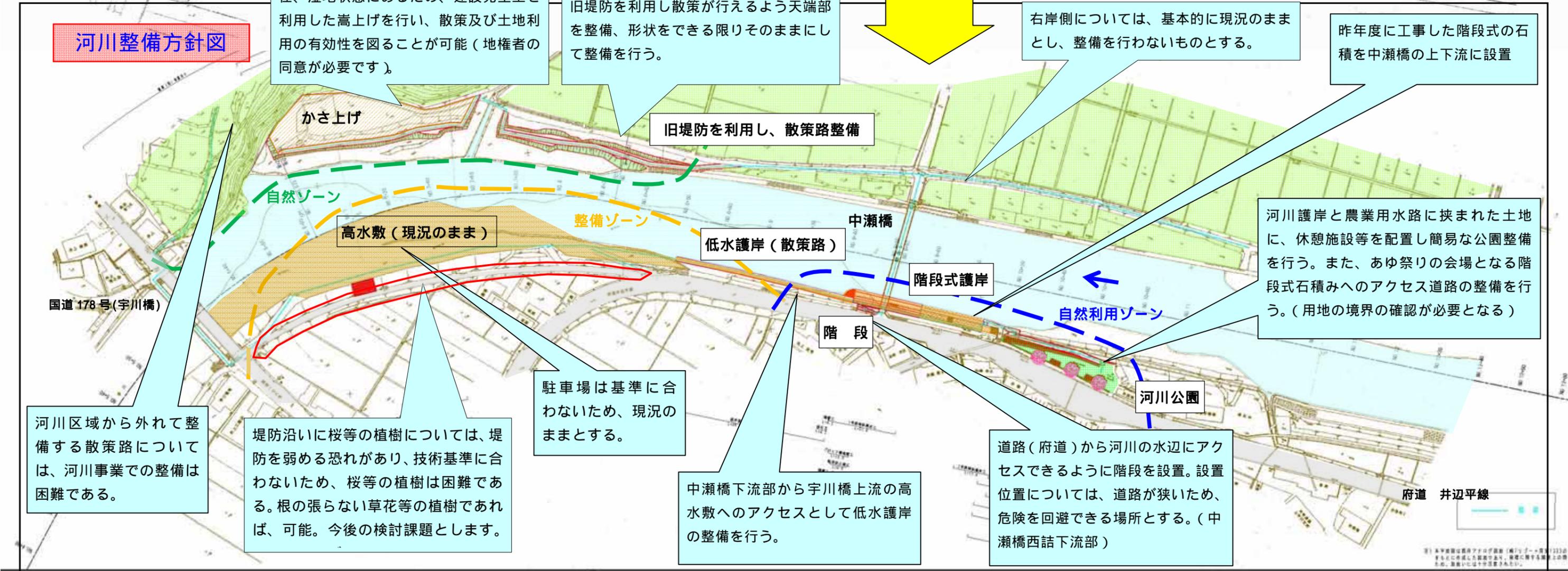
次ページに河川整備方針を図面に取りまとめ、各施設の配置についてコメントしております。



意見集約図：この絵は、ワークショップの意見を図に集約したものです。



河川整備方針図



※本計画は関係行政庁(国土交通省)の指導のもとに作成されたものであり、実施に際しては関係行政庁との協議が必要となる。詳細は関係行政庁にお問い合わせください。